

広島県地震被害想定調査検討委員会（第4回） 議事要旨

1 検討会の概要

日 時 令和7年6月10日（火）10時00分～12時45分
場 所 広島県庁 北館4階 防災会議室（オンライン併用）
出席委員 別紙出席者名簿のとおり。

2 議事要旨

（1）第3回検討委員会における指摘事項への対応等

令和7年3月24日に開催した第3回検討委員会における各委員からの提言への対応案について、事務局から説明を行った。

（2）南海トラフ地震に係る地震動予測手法の見直しについて

事務局から、南海トラフ地震に係る地震動予測手法の見直しについて説明を行った。

（3）液状化・土砂災害の予測手法及び結果について

事務局から、液状化・土砂災害の予測手法及び結果について説明を行った。

【委員からの主な意見】

- 液状化の予測に際し、山間部における盛土地域においては、液状化危険度を過大に評価するおそれがあるため、盛土地域がどこかを明示すべきではないか。
- 地震後の大雨による土石流・地すべり等の発生の予測については、広島県にとって重要な項目であると考えられるので、県としての取扱いについて、報告書に記載すべきではないか。
- 土砂災害の予測に関し、斜面の崩壊確率の設定については、技術的にしっかりした整理をした上で報告書に記載いただきたい。

（4）津波浸水想定 of 計算結果について

事務局から、津波浸水想定 of 計算結果について説明を行った。

【委員からの主な意見】

- 南海トラフ地震以外の地震による津波浸水想定 of 結果についても、早急にお示しいただき、取扱いについて引き続き議論したい。
- 地震動による破堤に伴う浸水の計算方法を工夫することであるが、非物理的な浸水を表現することにならないように留意いただきたい。

(5) 被害想定予測手法について

事務局から、被害想定予測手法について説明を行った。

【委員からの主な意見】

○道路被害の予測について、対策工事が行われている箇所については、経年劣化等を考慮するため、工事が実施された時期の情報も記載すべきではないか。

以上